

7/26
7/26
4-20

第31回原産年次大会の開催準備について（案）

平成9年9月30日
日本原子力産業会議

日本原子力産業会議は、主要事業の一環として、国内外の関連分野から広く関係者の参加を得て「原産年次大会」を開催している。

本年次大会は、エネルギー・原子力の開発利用上の重要な問題について、意見の表明と討論を行う場として開催されており、本大会を通して、重要課題とその解決策を見出すための指針を得るとともに、原子力研究開発利用の進め方について国民の理解促進に資することを目的としている。

人類は今世紀に文明を飛躍的に発展させたが、それは、大気、水、動植物、鉱物などの資源を大量に消費することによって成し遂げられた。しかし私達は来世紀を目前にして、地球の資源が限られたものであり、その繁栄は脆弱な基盤のうえにあるという事実を認識するに至っている。しかも世界の人口は来世紀半ばに100億に達するといわれており、開発途上国を含めて人々が豊かさを享受していくためには、科学技術をはじめとする様々な知恵を駆使して、新しい価値体系のもとで、限られた資源を有効に利用していかなければならない。このような来世紀の人類の生活基盤を支える科学技術ならびにエネルギー源として、原子力は重要な役割を果たし得る十分な資質を有している。

原子力開発をめぐる昨今の情勢は極めて厳しいものがあるが、動力炉・核燃料開発事業団を改組した「新法人」の発足にむけて、効率的で活力のある研究開発の体制を再構築していくとともに、原子力開発計画の進め方についても各方面の意見を踏まえて、抜本的な検討を行っていくことが最も緊急の課題と考えられる。

第31回年次大会は下記の期日、場所にて開催するが、上記のような全般的認識のもとに、近く準備委員会を設置して基調テーマ、議題などプログラムを検討し準備をすすめていくものとする。

記

会 期 平成10年4月20日（月）～22日（水）
場 所 東京国際フォーラム
東京都千代田区丸の内3-5-1

以 上